

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぞうさん板付教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		令和8年 1月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多彩なプログラムの提供	季節行事や外出活動、五感を刺激する活動など、お子様の好奇心を刺激する体験機会を幅広く提供しています。個々の興味に合わせた活動案を用意し、飽きのこない工夫を行っています。	お子様が興味を持ち、自発的に動き出したいようになるような「仕掛け」や「環境設定」をさらに工夫していきます。体験のバリエーションを広げ、成功体験を積み重ねる機会をふやしていきたいと思っています。
2	安心・安全な居場所づくり	お子様の特性に合わせた「構造化」と、情緒に寄り添う「受容的交流」。お子様が「次に何をすればいいか」を視覚的に理解できるよう、活動スペースの区分けやスケジュールの提示を工夫し、混乱や不安を防ぐ環境を整えています。	お子様の小さな心の動きや表情の変化をより細やかに観察し、一人ひとりが「自分らしくいられる」場を提供します。心理的な安全性を高め、通所への意欲をさらに引き出します。
3	スタッフのチームワークと共有体制	全スタッフがお子様の状況を共有し、誰が担当しても一貫した関わりができる体制を整えています。スタッフ間の密な連携が支援の質の安定に繋がっていると思います。	スタッフミーティングを定期化し、個々のスタッフが持つ支援技術や気づきを全体で言語化・共有する仕組みを強化します。チーム一丸となって支援のねらいを深めていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の継続と内容の深化	昨年度に引き続き、SNSやHPでの発信を行っていますが、活動の様子を伝えることに留まっており、その裏側にある「療育的なねらい」や「お子様の成長のプロセス」を十分にお伝えしきれていない場面があります。	投稿内容に、その活動がどのような発達支援に繋がっているのかという専門的な視点を今以上に添えるようにしていきたいと思っています。保護者様が療育の意図をより深く理解し、安心していただける発信を目指します。
2	自律的な活動を促す環境構成と支援根拠の共有	安全面を優先するあまり、お子様が自発的に活動を発展させる余白や仕組みが不足している点。また、個々のスタッフが持つ支援技術が全体で十分に言語化・共有されきっていない点が課題です。	視覚的な整理を再考し、お子様が自発的に次の行動に移れる環境を再構築していきたいと思っています。同時に、定期的なスタッフミーティングを通じて各スタッフの専門スキルを言語化し、支援の根拠をチーム全体で共通認識として持てるよう取り組んでいきたいと思っています。
3			